



よねやま親善大使 退任式・任命式

6月4日理事会終了後、第3代よねやま親善大使の任命式が行われ、全国各地の理事が見守るなか、小沢理事長から委嘱状とタスキが手渡されました。また、この6月末で退任となる第2代よねやま親善大使の3人に、感謝の盾が贈られました。第2代親善大使の3人には任期を1年延長して3年間、精力的に活動していただき、心より感謝申し上げます。

また、理事会前日の3日には、第3代よねやま親善大使オリエンテーションを開催。広報委

員会委員長の宇佐見 透氏を講師に迎え、親善大使の役割や心構えを学んでいただいたほか、現親善大使から先輩としての体験談を話していただきました。

7月からは、第3代よねやま親善大使の3人が2年の任期で活動を開始します。地区の米山関連行事などに、ぜひ呼びください。招へいのご相談は、まずは米山奨学会事務局広報担当（峯・野津）まで。どうぞよろしくお願いいたします。



理事会開催報告 — 2019 学年度採用数は 850 人に —

6月4日に第19回理事会が開催され、全国から27人の理事と監事3人が出席しました。

主な議案として、定款変更の件、2018学年度採用の件、2019学年度奨学生採用数と募集要項の件、2018年度の事業計画案および収支予算案

の件、2018年度資産運用方針の件、奨学金給与規程一部改定の件などが審議されました。また、理事改選に伴い、役員候補者指名委員会を設置するため、委員の選任が諮られました。

すべての議案は原案通り承認され、2019学年度の奨学生採用数は前年度比30人（枠）増の850人（枠）とすることや、海外応募者対象奨学金が6年にわたる試行期間を終え、2019学年度の正規奨学金プログラムに加わるなどが決定しました。

議事終了後は、出席している理事、常務理事から出されたいくつかの質疑について、忌憚のない意見交換の時間を持ちました。



寄付金速報 — 今年度の送金はお早目に —

5月までの寄付金は、前年同期と比べて6.5%増（普通寄付金：0.6%増、特別寄付金：9.5%増）、約8,100万円の増加となりました。財団設立50周年である今年度は、2年ぶりに14億円を超えることがほぼ確定的となりました。ご寄付をいただきました皆様に心より感謝いたします。

寄付実績は、普通寄付金・特別寄付金ともに、6月29日（金）までに当会の銀行口座に入金記帳された分までとなります。ご送金の際には日程に余裕を持ってお送り下さいますよう、今年度最後までご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

おかえりなさい！ 帰国学友歓迎会 — 韓国米山学友会 —

韓国米山学友会が5月19日、帰国米山学友歓迎会を開催し、33人が参加しました。この会は、韓国へ帰国して間もない元米山奨学生を同学友会が歓迎するもので、毎年恒例のイベントとなっています。

毎年2～3人の日本人を支援しています。3期生の3人は、啓明大学、慶照大学、東国大学大学院に通っており、それぞれ1年間、100万～200万ウォンの奨学金を受けながら、韓国での勉学に励みます。



また当日は、韓国米山学友会と韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブが協力で支援する、日本人奨学生第

3期生の3人が紹介され、奨学金授与、メンター（カウンセラー）役の学友との顔合わせが行われました。同奨学金制度は2016年にスタートし、



50周年記念式典報告書・記録DVDがまもなく完成

2月4日開催の財団設立50周年記念式典には、700人を超える方にご出席いただきました。すでに、この「ハイライトよねやま」（215号）や『ロータリーの友』（2018年4月号）で概略をご報告していますが、いよいよその全貌を伝える報告書と記録DVDが完成します。

報告書（オールカラー、64ページ）はPDF形式で、当会ホームページからご覧いただくことができます。また、記録DVD（全再生時67分）は、CHAPTER毎にスキップして再生可能です。例会や行事での上映にDVDのご要望があれば、ご用命ください。

※完成は、6月27日予定です。送付はそれ以降となりますので、あらかじめご了承ください。

